

柏崎刈羽原子力発電所 6号機 タービン建屋 原子炉補機冷却系（A系） 熱交換器・ポンプ室での火災および負傷者の発生 事象概要

平成 20 年 12 月 19 日
東京電力株式会社

1. 事象発生日時

平成 20 年 12 月 8 日 10 時 32 分頃（作業員から聞き取った時刻）

2. 事象発生場所

6号機タービン建屋地下1階 原子炉補機冷却系（A系）熱交換器・ポンプ室

3. 事象の概要

タービン建屋地下1階 A系原子炉補機冷却系熱交換器・ポンプ室において、協力企業が8時30分頃より配管サポート耐震強化工事のため火気養生エリア（不燃シートでハウス養生）で溶接作業を3箇所、作業班長および溶接作業員2名で開始した。10時32分頃、溶接していた一方の作業員がワイヤ送給装置にかかっていた不燃シートの隙間からの発火、発煙を確認したことから、当該溶接作業員2名と当該火気養生エリアの火気専任監視員1名および近くにいた他の火気専任監視員1名とともに簡易消火器4本を用いて初期消火活動を実施した。

10時40分、協力企業工事担当者より「溶接作業で作業員が煙を吸ったようで体調が悪くなりうずくまっている」と中央制御室が連絡を受けた。10時43分に通報連絡責任者が中央制御室より連絡を受けたことから、人身災害にかかわる関係者に連絡したが、この時点では火災との連絡を受けておらずその認識は無かった。

協力企業副所長が当社事務本館の緊急時対策室に現れたことから、11時20分頃より体調不良者の状況を確認していた際、ワイヤ送給装置より発煙し簡易消火器を使用し発煙は停止したとの発話があったため、直ちに（11時37分）通報連絡責任者が一般電話回線で消防署へ連絡。12時27分、消防署により鎮火確認された。

なお、体調不良となった作業員は、その後病院で診察を受けた結果、異常は確認されなかった。

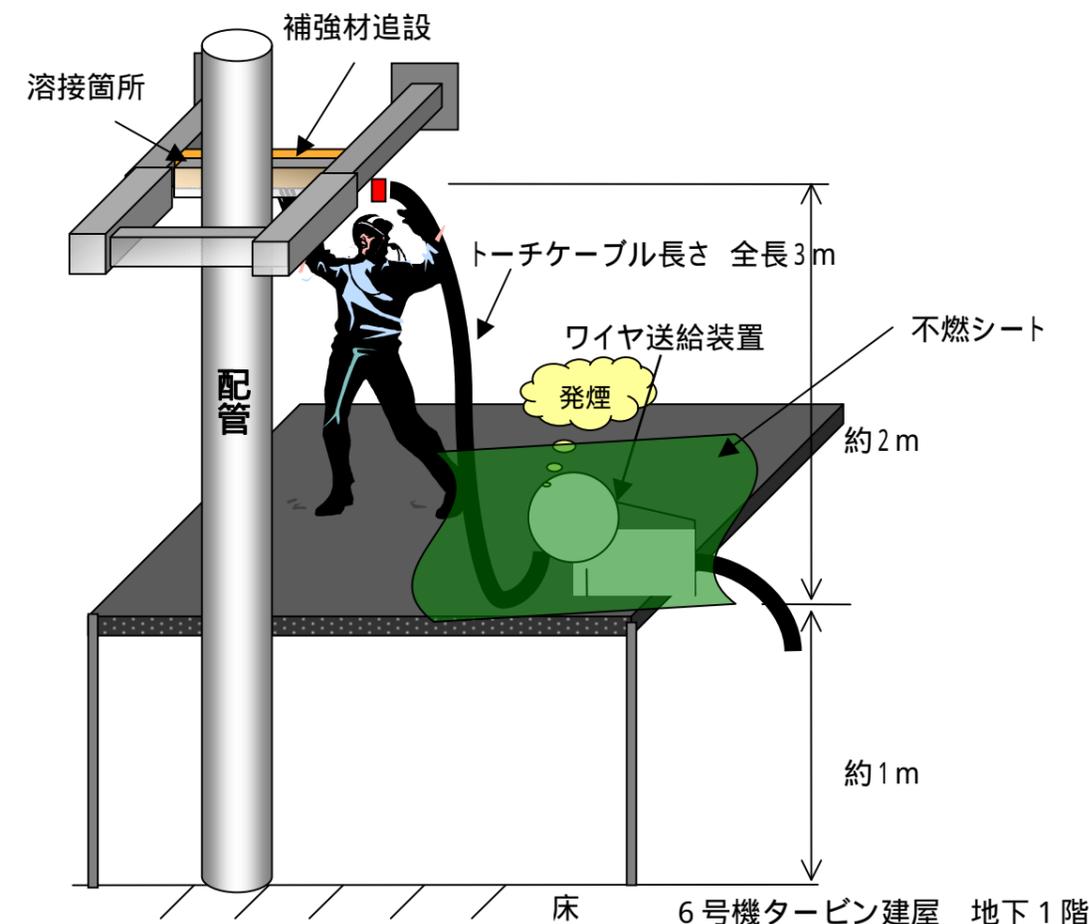
本事象による外部への放射能の影響は確認されなかった。

【時系列】

- 8:30 タービン建屋地下1階 A系原子炉補機冷却系熱交換器・ポンプ室で配管サポート耐震強化工事のため溶接作業を開始
- 10:40 中央制御室が協力企業工事担当者より「溶接作業で作業員が煙を吸ったようで体調が悪くなりうずくまっている」との連絡を受ける
- 10:43 通報連絡責任者が中央制御室より体調不良となった作業員の発生の連絡を受ける
- 10:45 サテライトオフィスにいた当社社員が協力企業工事責任者より体調不良の作業員発生の連絡を受ける。その際「ワイヤ送給装置ドラム付近から発煙したと推測される。また、中央制御室への連絡は行っており、チェックポイントへ行くよう指示された」との説明あり
上記連絡を受けた当社社員が中央制御室に消防車を要請したか確認の電話をしたところ、「溶接作業で気分が悪くなったただけなので、消防へは通報していない。」との回答を得る
その後、当該社員が協力企業工事担当者に現場の状況を確認したところ「溶接作業でのヒュームを吸い込み気分が悪くなった」との回答を得る
- 11:20～11:37 頃 通報連絡責任者が緊急時対策室にて協力企業副所長より体調不良者の状況を確認していた際、ワイヤ送給装置より発煙し簡易消火器を使用し発煙は停止したとの発話を確認

11:37 通報連絡責任者が消防署へ連絡

12:27 消防署により鎮火確認



ワイヤ送給装置ドラム

以上